

1 地域の概要

(1) 立地条件

香取地域は、香取市、神崎町、多古町及び東庄町の1市3町からなり、県の北東部に位置し、東京から65～80km、千葉市から40～55kmの圏内にあり、大消費地東京へは、高速道路で約90分で行くことができる。

北部の利根川沿い、南部の栗山川流域は、肥沃な水田地帯であり、千葉県を代表する穀倉地帯を形成している。

中央部は、関東ローム層の火山灰土に覆われた標高30～40mの台地で、畑作農業としてさつまいも、やまといも、こかぶ、にんじんなどを中心とする露地野菜等の生産が盛んで、千葉県を代表する畑作地帯となっている。

(2) 農業産出額

令和4年の市町村別農業産出額（推計）では、香取地域の農業産出額は549.5億円で、海匝、印旛地域に次いで第3位を占めている。

主な作目としては、米73.4億円（13.4%）、いも類92.1億円（16.8%）、野菜113.8億円（20.7%）、畜産248.9億円（45.3%）となっている。

(3) 耕地面積

令和5年の耕地面積は16,855haで、県全体の14.0%にあたり、印旛地域に次ぐ面積となっている。

このうち水田面積は11,266haで、耕地全体の66.8%、県全体の15.8%を占め、県内最大である。

また、畑面積は5,580haで、耕地全体の33.1%、県全体の11.4%を占めている。広く平坦な北総台地を中心に「北総東部用水」、「東総用水」、「成田用水」の三大用水事業によるほ場整備が進み、用水を活用した多様な農業が展開されている。

(4) 農家経営体数

令和2年の農業経営体数は4,153経営体で、県全体の11.7%を占めている。このうち販売農家は4,034戸で、県全体の11.8%を占めている。

農業経営体のうち、販売金額5,000万円以上の経営体が127あり、県全体の17.2%を占めている。

(5) 参考資料

表1 農業産出額

単位：億円

区分	合計	米	いも類	野菜	畜産	その他
香取市	293.3	51.2	77.6	46.1	107.8	10.6
神崎町	8.9	2.9	1.2	1.2	2.2	1.4
多古町	108	12.4	13.1	35.5	41.6	5.4
東庄町	139.3	6.9	0.2	31	97.3	3.9
香取計	549.5	73.4	92.1	113.8	248.9	21.3
部門割合	100.0%	13.4%	16.8%	20.7%	45.3%	3.9%
県内占有率	14.9%	15.6%	42.8%	8.5%	20.3%	5.0%
県計	3,676	472	215	1,335	1,226	428

出典：令和4年 市町村別農業産出額（推計）

令和4年 生産農業所得統計（都道府県別農業産出額及び生産農業所得）

表2 耕地面積

単位：ha

区分	耕地面積		
	計	田	畑
香取市	11,100	7,710	3,380
神崎町	745	626	119
多古町	3,130	1,650	1,480
東庄町	1,880	1,280	601
香取計	16,855	11,266	5,580
構成比	100.0%	66.8%	33.1%
県内占有率	14.0%	15.8%	11.4%
県計	120,300	71,500	48,800

出典：令和5年 作物統計（耕地面積）

表3 農業経営体数

単位：経営体、戸

区分	農業経営体数	農産物販売金額 5,000万以上の 経営体数	販売農家数（戸）
香取市	(3,406)	(45)	(3,339)
	2,718	53	2,645
神崎町	(189)	(2)	(182)
	134	4	127
多古町	(1,021)	(20)	(1,003)
	800	29	782
東庄町	(631)	(35)	(614)
	501	41	480
香取計	(5,247)	(102)	(5,138)
	4,153	127	4,034
県内占有率	11.7%	17.2%	11.8%
県計	(44,985)	(599)	(44,039)
	35,420	738	34,261

出典：上段（2015年(H27)農林業センサス）

下段（2020年(R2)農林業センサス）